

晴れの国ブルースカイ事業

1 事業の概要

平成29年度から令和元年度の本県における微小粒子状物質（PM2.5）の環境基準達成率は全国ワースト1位であり、県南部で出現する高濃度日は、稲わらの野焼きの影響がある。このため、PM2.5の濃度に直接影響を与える野焼きの減少に向け、野焼きを規制するのではなく、関係者の理解を深めつつ、稲わらの焼却処理から有効活用（ほ場へのすき込み等）への転換を図っています。

2 令和2年度実績

（1）稲わら等有効活用把握事業

令和元年度及び令和2年度の稲わらの処理実態を衛星写真等により調査した。

《野焼き推定圃場判定結果（2020年秋期）》



（2）関係団体等連携推進会議

県、市及び農業団体で構成する標記会議を開催し、野焼き率の低減に向けた協議を行った。

- 日 時 令和2年7月28日（火）13時30分～14時30分
- 場 所 ピュアリティまきび
- 議 題 晴れの国ブルースカイ事業のコンセプトについて
令和2年度における取組について
今後のスケジュール等について

(3) 稲わら有効利用促進事業

農家に対し、稲わらをすき込んだ際に必要となる稲わら分解促進材（石灰窒素等）の購入支援（最大50%補助）を行い、野焼きからの転換を促した。

- 対象者 ほ場（対象地区内に限る。）で稲わらを焼かずにすき込む方
- 申請期間 令和2年8月3日～12月25日
- 補助件数 155件

(4) 大気環境改善普及啓発事業

チラシ作成、広報媒体、研修会による農業系廃棄物（産業廃棄物を含む。）の適正処理に関する啓発等を行った。

- 啓発チラシの配布 56000部
- JA講習会による啓発 11箇所（9～10月）
- 山陽新聞紙面に掲載 1回（令和2年10月25日）
- ラジオCM 1回（令和2年11月5日）

《啓発チラシ》



担当部署

環境文化部 環境管理課 大気保全班